

## フィルムリーディングセッション

## 司会の言葉

大 島 統 男 (帝京大学医学部放射線科)

小 泉 潔 (東京医科大学八王子医療センター放射線科)

昨年の核医学会総会と同様に、本年の総会においてもフィルムリーディングセッションが企画され、昨年同様私どもがその司会を担当させていただくことになりました。よろしくお願ひ申し上げます。核医学が実際の臨床面においてどのように役立つのか、核医学の正しい読影法はどのようなかなど、この機会にもう一度検討したいと思ひます。

今回の出題者および回答者は、主に西日本の施設にお願ひいたしました。前回の反省に立ち、今回もより好評を博するため、案を練りました。例えば、前回の出題は骨シンチグラフィに偏ってましたので、今回は脳、心臓核医学からも出題す

るよういたしました。出題方法および回答方法は前回同様といたしました。すなわち、司会者が症例呈示と質問を行い、クイズ形式により、壇上に上がっていただいた複数の回答者に番号札で正解を選択していただきます。今回の回答者は前回より若い世代にお願ひいたしました。その後、出題者には明快な解説をしていただくことにしました。さらに会場の方にもご意見が遠慮なく出せるような設定を考えており、壇上とフロアとが一体となってディスカッションができるように工夫をいたします。

皆様のご期待に添えるよう企画いたしましたので、昨年同様、多数のご出席をお願ひいたします。